



川部小の伝統
『仏具山の気高さ』
『自立 協同 勤労』

令和6年度 いわき市立川部小学校 経営・運営ビジョン

1873年(明治6年) 7月3日創立(創立151年)
1890年(明治23年) 小川・沼部・山玉・瀬戸・三沢を学区にする
2014年(平成26年)より 旧田人二小学区の児童も在籍

県・市の教育施策の重点
第7次福島県総合教育計画（R4～12年度）
「ふくしまならでは」の教育の推進
「学びの変革推進プラン」
いわき市教育委員会
未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン
次代のいわきを担う「生きる力」を身に付けた子供の育成
A 様々な体験活動・学習支援活動を推進します
B 教育の「土台」の部分充実し、学力の向上を図ります
C 子供たちの命を守る取組を充実します

教育目標
自ら進んで
① からだをきたえる子ども
② わを大切にする子ども
③ べんきょうにはげむ子ども

児童の実態
○ 素直で明るく、互いを認め合い、受容的な集団としてのまとまりがある
○ どの教科の学習にも意欲的である
● 自分の考えを持ち、自己表現する力の育成
● 自己マネジメント力・活用力の育成
● 二極化傾向にある学力・体力の向上

保護者の願い
・安全・安心な学校
・思いやりをもち、明るく素直な子ども
・学力、体力・運動能力の一層の向上

学校経営の方針
(1) 10年後、20年後の社会の姿を見据えながら児童に向き合い、児童一人一人が、個人や社会の成長のために新たな価値を生み出し、持続可能な社会を創る担い手となるための資質づくり
(2) 児童一人一人の特性や学習・生活の状況を丁寧に見取り、個に応じたきめ細かな指導・支援を行う。
(よりよい生活習慣・よりよい学習習慣・自己規律の育成)
(3) 職員一人一人が自ら学校経営に関わっているという経営参画意識をもち、何よりも児童・保護者・地域に信頼される人間であるよう研究と修養を重ね、協働して指導・支援にあたる。
(使命感と責任をもつ職員・全職員で全児童を見る体制)
(4) 学校と家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、教育活動を計画的・継続的・組織的に推進し、信頼され魅力ある学校をつくる。
(地域・関係機関とWin-Winの関係をつくる)

めざす教師の姿
・情熱と愛情そして誇りをもって教育にあたる教師
・学校・学級を開き、責任と経営参画意識をもった教師
・研修に努め、常に専門性を高める教師

めざす学校
「子どもも教師も 夢をもって生き生きと輝いている学校」
① 健康で活気に満ちた安全で安心できる学校
② 関わり合うこと(対話)を通して、自他を大切にする心を育てる学校
③ 将来の豊かな社会のための学びのある学校
④ 家庭・地域と手を携え、信頼される学校

保護者の理解と支援の姿
・子どもとよく話し合い、我が子の自己実現と自立・自律を願う保護者
・教職員と話し合い、相互理解のもとで子どもを育てる保護者

めざす子どもの姿
＜＜ 自ら考え判断し活動する中で、支え合い助け合って目標を達成する子ども ＞＞
○ 目標を達成する喜びを味わわせ、自己実現力を育てる。【チャレンジする力】
○ 支え合い(力を添え合う)・助け合い(手をさしのべ合う)により、対話を通して人との関わりを大切にすることを醸成する。【自他を大切にできる力】
○ 自己決定により、自立の心と自律の力(自己マネジメント力)を養う。【自分の考えを持ち、表現する力】

① からだをきたえる子ども
重点目標
目標をもって、粘り強く最後までやり抜く

【基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成】
① 望ましい生活習慣、挨拶、言葉遣いを指導します。
② きまりや約束・時間を守ることの大切さを指導します。「学習の約束」
③ 家庭と連携した取組を推進します。
・「早寝・早起き・朝ごはん」
「アウトメディア」「自分手帳」の推進
【体力・運動能力の育成】
① 十分な運動量を確保した体育科の授業を推進します。
・領域に合わせた「運動・身体づくりプログラム」の継続的・重点的活用
② 各自に目標をもたせるとともに、運動の日常化を図ります。
・「学習カード」等の効果的な活用
【健康・安全教育、食育の推進】
① 各教科・特別活動との関連を図った健康・安全教育を推進します。
② 食育の一層の充実を図り、健やかな体づくりと感謝の心を育みます。
「ふれあい弁当デー」
③ 感染症対策についての理解を深め、実践力を高めます。

② わを大切にする子ども
重点目標
思いやりの心をもって行動する

【思いやりの心、豊かな心・感性の育成】
① 「特別の教科 道徳」の改善・充実に努めます。
・「考え、議論する道徳」具現のための授業改善
・地域・保護者の理解推進(授業公開)と外部人材を活用した指導の推進
② いじめや不登校の未然防止・早期解決に全職員で取り組みます。
・悩みの早期発見・早期対応、よりよい人間関係づくり・「SSTタイム」
・生徒指導主事を中心とした情報共有による「全職員で全児童を見る体制」
③ キャリア教育の視点で異学年交流・幼小中の連携活動を推進します。
・縦割清掃・班集会、係活動、体験活動、ボランティア活動の充実
・幼稚園や中学校との連携を推進
【体験的活動や総合的な学習などの充実】
① 地域や関係機関との連携を図った教育活動を通して、郷土に対する理解や愛着を深めます。
② 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことを通して、持続可能な社会の創り手の資質の基盤を築きます。

③ べんきょうにはげむ子ども
重点目標
基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ

【授業の充実、改善による学力向上】
① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めます。
・「学力向上のための学年プラン」のPDCAサイクルによる取組
・言語活動や体験活動の充実
・教科等横断的な指導の充実
・ICTを効果的に活用した授業実践
・生徒指導の機能を生かした「自己決定・自己存在感・支え合い」の場面設定
② 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学びに向かう力を育成します。
・個に応じたきめ細かな指導の推進
・「かわべタイム」の充実
・「算数がんばろ週間」の実施
【家庭学習の充実による学習内容の定着】
① 学校と家庭が連携して自己マネジメント力を養います。
・「家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の活用
・「自主学習」と「家庭読書・アウトメディア」の推進
【読書活動の一層の充実】
① 読書タイムや家庭読書などの読書活動を推進して、読書の習慣化を図ります。
② 学校司書や移動図書館、読み聞かせボランティア等との連携を推進します。

子どもは地域の希望、そして私たちの誇り

恵まれた地域環境を生かし、地域や関係諸機関、保護者の皆様との連携による教育活動を通して、持続可能な社会の担い手の資質の基礎となる地域への愛着や誇りを育てます。
○ 地域人材の活用による授業・学校行事の推進(地域探検、産業探究、歴史研究、アユ放流などの「ふるさと学習」)
○ 川部中学校、あざみ野子ども園等との連携教育の推進(授業の相互参観、各種行事の協力開催、地域の行事での交流など)
○ 地域連携による児童の安全確保(登下校の見守り、放課後児童クラブ、通学路安全点検、防災訓練など)
○ 各種団体による読書活動推進(読書ボランティア「くれよんの会」による本の読み聞かせ、移動図書館など)